

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公表番号】特表2016-522426(P2016-522426A)

【公表日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-045

【出願番号】特願2016-506933(P2016-506933)

【国際特許分類】

G 1 0 H	1/00	(2006.01)
G 1 0 K	15/02	(2006.01)
G 1 0 H	1/46	(2006.01)
G 1 1 B	20/10	(2006.01)
G 1 1 B	20/12	(2006.01)
G 1 1 B	27/02	(2006.01)
H 0 4 R	3/00	(2006.01)

【F I】

G 1 0 H	1/00	Z
G 1 0 K	15/02	
G 1 0 H	1/00	1 0 2 Z
G 1 0 H	1/46	
G 1 1 B	20/10	G
G 1 1 B	20/12	
G 1 1 B	27/02	J
H 0 4 R	3/00	

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月3日(2017.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータにより実行される、オーディオ出力ファイルの生成方法であって、1つまたは複数のプロセッサ及びメモリを用いて、

オーディオ・トラックを受信するステップであって、各オーディオ・トラックは、テンポ、ジャンル及びハーモニック・マップ等のオーディオ・パラメータに従って作成されたオーディオ・コンテンツファイルである、ステップと、

各オーディオ・トラックを少なくとも1つの選択可能なオーディオ・ブロックに区分するステップであって、各オーディオ・ブロックが、前記オーディオ・トラックの作成に関連した楽器からのオーディオ・コンテンツを含む、ステップと、

固有識別子を各オーディオ・ブロックに割当てるステップと、

オーディオ・ブロックを選択するように前記固有識別子を使用するステップと、

前記選択されたオーディオ・ブロックを結合することにより、オーディオ出力ファイルを生成するステップ

を実行することを含み、

それによって、オーディオ・ブロックを選択するように前記固有識別子を使用するステップが、オーディオ・ブロックの組み合わせを選択することを含み、オーディオ・ブロ

ックの組み合わせのための前記固有識別子が、記憶装置の記憶に発見されないとき、前記組合せが許容可能であることを示す、方法。

【請求項 2】

オーディオ・ロックを選択するように前記固有識別子を使用するステップが、オーディオ・ロックの選択の前記固有識別子を、記憶装置内の記録と比較することを含み、前記固有識別子の組合せの記録が発見される場合には、オーディオ出力ファイルは生成されず、固有識別子の前記組合せの記録が発見されない場合には、前記選択されたオーディオ・ロックは、オーディオ出力ファイルを生成するように結合される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

生成された前記オーディオ・ファイルの前記選択されたオーディオ・ロックのための固有識別子の前記組合せの記録を、前記記憶装置に記憶するステップを含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

各オーディオ・ロックが、単一の楽器からのオーディオ・コンテンツを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記オーディオ出力ファイルの生成に使用するために同一のオーディオ・パラメータを有するオーディオ・ロックを選択するステップを含み、各オーディオ・ロックが、前記オーディオ・ロックが区分される前記オーディオ・トラックに応じたオーディオ・パラメータを有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記オーディオ・ロックの前記オーディオ・パラメータ及び楽器のうちの 1 つに応じて、前記オーディオ・ロックを記憶装置に記憶するステップを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

音楽ジャンル、音楽スタイル及びモード・データのうちの 1 つまたは複数を含むユーザ嗜好データに応じて、前記オーディオ出力ファイルのためのオーディオ・ロックを選択するステップを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記オーディオ・ロック選択手段により選択された 1 つまたは複数のオーディオ・ロックを保持するように、また、ユーザ嗜好データに応じて、前記オーディオ・ロック選択手段により選択された前記オーディオ・ロックのうちの少なくとも 1 つを、以前に選択されていないオーディオ・ロックと交換するように、保有モジュールを動作させるステップを含み、

生成された前記オーディオ出力ファイルから、前記オーディオ・ロック選択手段により選択された 1 つまたは複数のオーディオ・ロックを自動的に除去するように、また、前記除去された 1 つのオーディオ・ロックまたは複数オーディオ・ロックと同一のオーディオ・パラメータを有する、前記記憶装置からの 1 つのオーディオ・ロックまたは複数のオーディオ・ロックを、前記オーディオ出力ファイルへ編入するように、シャッフル・モジュールを動作させるステップを含み、

生成された前記オーディオ出力ファイルのオーディオ特性を修正し、リファインし、調整し、変更し、及び / または変化させるように、オーディオ編集及びミキシング・モジュールを動作させるステップを含み、

生成された前記オーディオ出力ファイルにおけるオーディオ・ロックのオーディオ特性を修正し、リファインし、調整し、変更し、及び / または変化させるように、オーディオ編集及びミキシング・モジュールを動作させるステップを含み、且つ、

オーディオ・トラックのテンポを調整し、及び / またはそのハーモニック・マップをシフトするように、オーディオ編集及びミキシング・モジュールを動作させるステップを含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

編入用の外部ソースから前記オーディオ出力ファイルへ、他の楽器演奏及び／または音声をインポートするステップを含む、請求項 1～8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

映像ファイル、静止画ファイル及び／またはテキスト・ファイルと前記オーディオ出力ファイルを同期させるように、オーディオ同期モジュールを動作させるステップを含む、請求項 1～9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

別のオーディオ出力ファイルを生成するのに、オーディオ・トラックとして取り出すために、生成された各オーディオ出力ファイルを記憶装置に記憶するステップを含む、請求項 1～10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

オーディオ・ブロックを作成するために、オーディオ・トラック及びオーディオ出力ファイルの拡張記憶ライブラリを提供するように、複数の記憶装置をリンクさせるステップを含む、請求項 1～11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記オーディオ出力ファイルの前記オーディオ・ブロックを、それぞれがタイム・スロットを有するオーディオ・ブロック・セグメントに区分するステップであって、同一のオーディオ・ブロックからのオーディオ・ブロック・セグメントは異なるタイム・スロットを有する、ステップと、

同一のタイム・スロットを有するオーディオ・ブロック・セグメントを共に伝送するステップであって、前記同一のタイム・スロットを有するオーディオ・ブロック・セグメントが、実質的に同時にコンピューティング装置で受信される、ステップと、

前記オーディオ出力ファイルの少なくとも 1 部を形成するように、前記同一のタイム・スロットを有するオーディオ・ブロック・セグメントを前記コンピューティング装置で結合するステップと、及び

前記コンピューティング装置で前記オーディオ出力ファイルを形成するように、前記オーディオ・ファイルの部分を結合するステップと、及び

に従って、生成された前記オーディオ出力ファイルをコンピューティング装置に伝送することを含む、請求項 1～12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

コンピュータにより実装される、オーディオ出力ファイルを生成するためのシステムであって、前記システムが、請求項 1～13 に記載のステップを実行するために、1 つまたは複数のプロセッサ及び 1 つまたは複数のプロセッサにより実行可能なプログラム命令を備える前記 1 つまたは複数のメモリを含む、システム。

【請求項 15】

命令を含む非一時的な機械可読の媒体であって、前記命令が、1 つまたは複数のプロセッサによって実行される場合には、前記 1 つまたは複数のプロセッサに、請求項 1～13 のいずれか一項に記載の方法に従って前記ステップを実行させる、前記非一時的な機械可読の媒体。